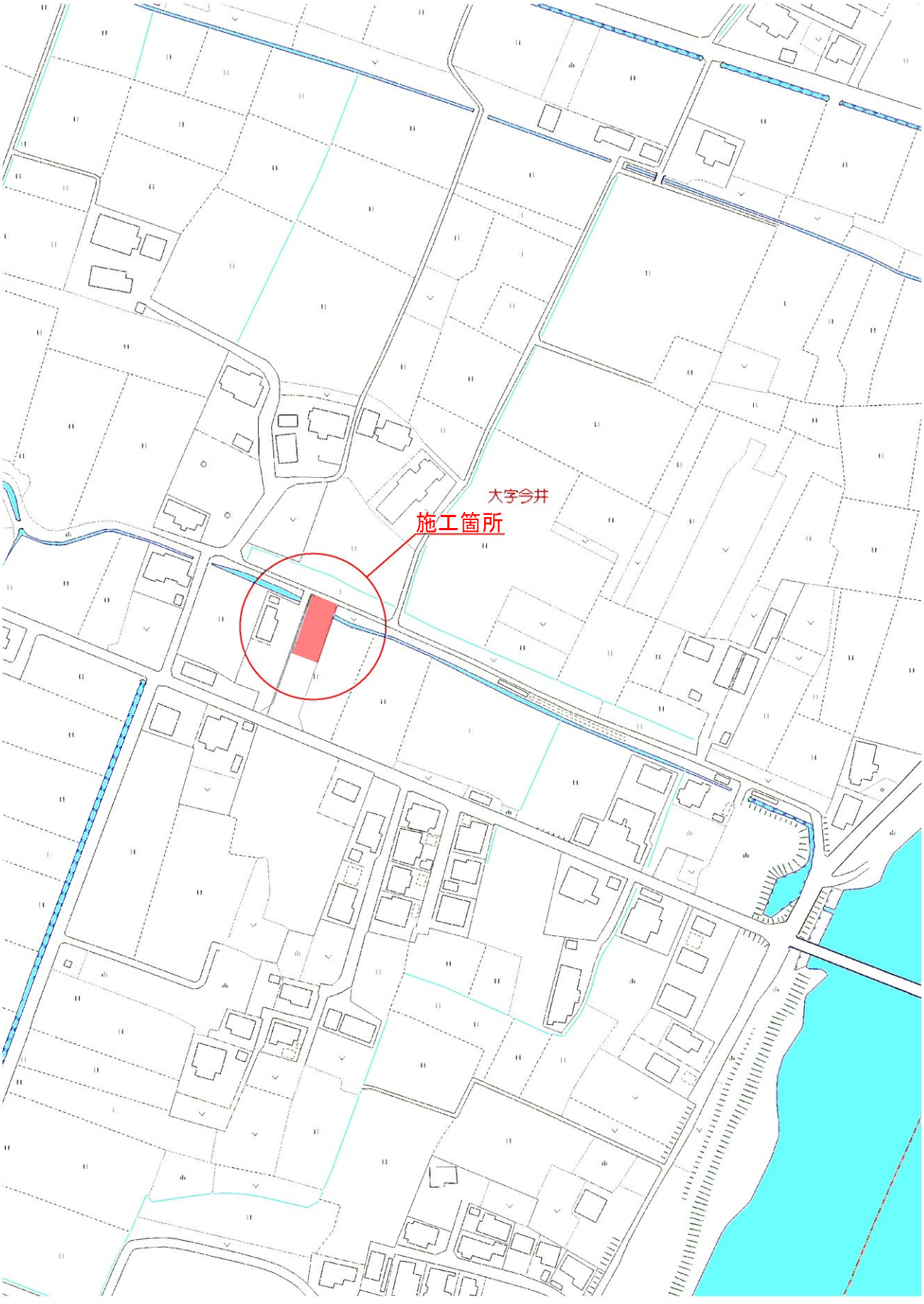
位　置　図

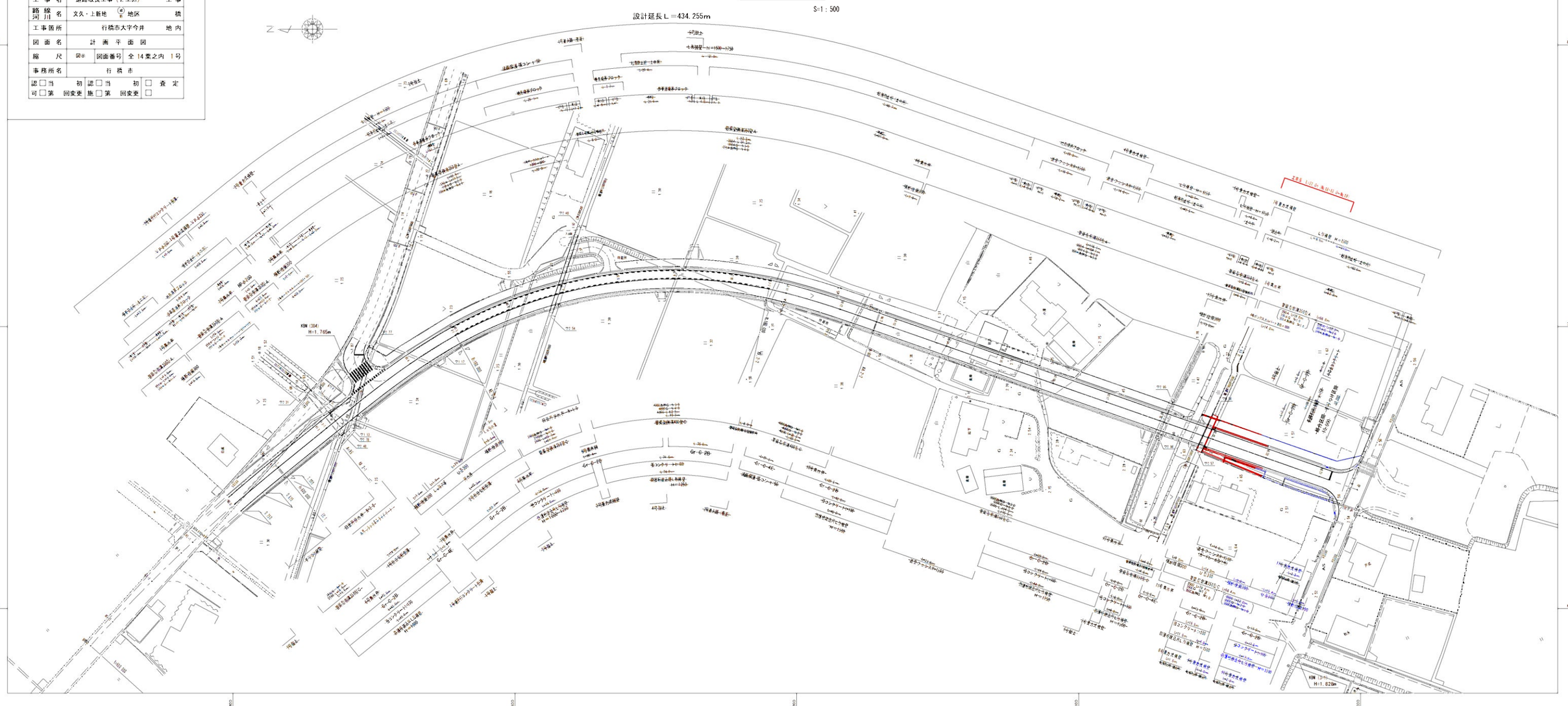


工事年度	平成30年度	第　号		工区
工事名	道路改良工事（２工区）			工事
路線名 河川名	文久・上新地	(都) (市)道	地区	橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	計　画　平　面　図			
縮尺	同左	図面番号	全 14 葉之内	1号
事務所名	行　橋　市			
認□当　初 可□第　回変更		認□当　初 施□第　回変更		□　査　定 □

計　画　平　面　図

S=1：500

設計延長 L ＝434.255m



工事年度	平成30年度	第　号	工区	
工事名	道路改良工事（2工区）		工事	
路線河川名	文久・上新地	地区	橋	
工事箇所	行橋市大字今井		地内	
図面名	計画平面図（拡大図）			
縮尺	図示	図面番号	全 14 葉之内 1号	
事務所名	行橋市			
認□当　初 可□第　回変更	認□当　初 施□第　回変更	□査定		

N

13号兼水路

管渠型側溝350型C L=4.0m

管渠型側溝350型C L=4.5m

Gr-C-4E L=5.5m

11号兼水路

擁壁部300 L=9.0m

6号重力式擁壁 L=1.5m

防護柵設置L形擁壁 H=1500 L=11.5m

現コンクリートt=100 L=15.5m

Gr-C-2B L=13.0m

6号重力式擁壁 L=2.0m

U型300 L=14.0m

管渠型側溝350型C 350C L=19.4m 350CG N=1.0 N=1.0

擁壁部300 L=9.0m

11号重力式擁壁 L=2.0m

防護柵設置L形擁壁 H=1500 L=17.5m

現コンクリートt=100 L=17.5m

Gr-C-2B L=17.0m

U型300 L=15.4m

11号重力式擁壁 L=2.0m

擁壁部300 L=5.0m

KBM (3-1) H=1.828m

水閘

秋永

戸成

AS VS300

VS300

2.52 2.54 2.56 2.56

HP φ360

2.65 2.63 2.39 2.20 1.97 1.02 0.59

2.75 1.45 1.80 1.47 1.78 0.93 2.22 0.55

1.31 1.64 1.56 1.57 1.62

2.57

G

橋溝W1800H1000

□W1800H1000

▽0.96 ▽0.96 ▽0.57 ▽0.56

NO.17 NO.18 NO.19 NO.20 NO.21

擁壁部300 L=13.0m

擁壁部300 L=9.0m

擁壁部300 L=5.0m

13号兼水路

管渠型側溝350型A L=9.0m

4号ボックスカルバート 1800×1000 L=14.0m

管渠型側溝350型A 350A L=19.8m 350A G N=1.0 N=1.0

管渠型側溝350型A 350A L=32.0m 350A G N=2.0 N=1.0

8号蹴上

L=7.0m Gr-C-2B

L=5.0m Gr-C-2B

L=20.0m 防護柵設置L形擁壁 H=1500 N=1.0

小口止コンクリート

離合区間 10.000

すりつけ区間 10.000

8号兼水路

管渠型側溝350型A L=6.0m

5号兼水路

管渠型側溝350型A L=52.2m

擁壁部 L=53.7m

擁壁部 L=42.5m

L形擁壁 H=1350 擁壁部（土中用） L=33.0m

6号重力式擁壁 L=4.0m

擁壁部 L=4.5m

擁壁部 L=4.0m

L形擁壁 H=1350 擁壁部（土中用） L=14.0m

7号重力式擁壁

擁壁部 L=6.0m

L形擁壁 H=1500 擁壁部（土中用） L=8.0m

擁壁部 L=6.3m

L形擁壁 H=1500 擁壁部（土中用） L=16.0m

擁壁部 L=63.0m

L形擁壁 H=1500 擁壁部（土中用） L=37.0m

擁壁部 L=6.0m

工事区 L=27.0m (No.18+13.0～No.19)

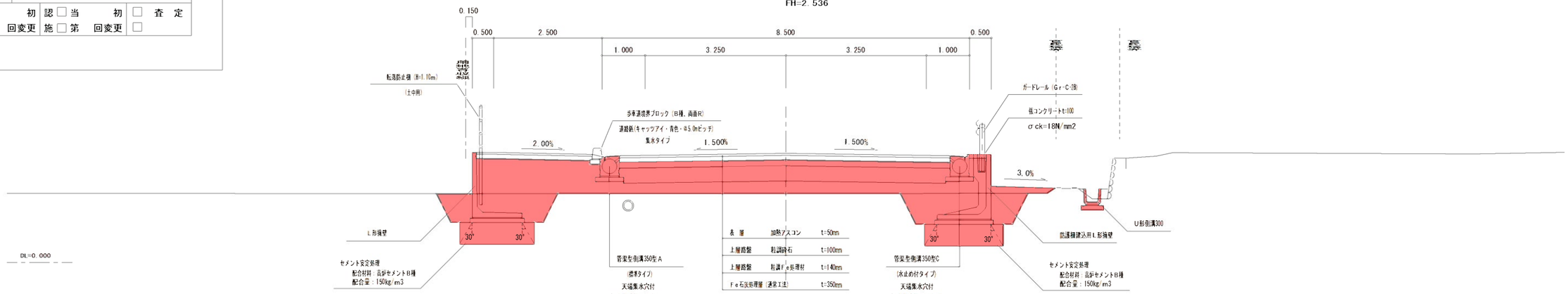
工事年度	平成30年度	第	号	工区	
工事名	道路改良工事（2工区）			工事	
路線河川名	文久・上新地	補助	地区	橋	
工事箇所	行橋市大字今井			地内	
図面名	標準断面図				
縮尺	図示	図面番号	全14葉之内	2号	
事務所名	行橋市				
認□当 初 可□第 回変更		認□当 初 施□第 回変更		□査定 □	

標準断面図

S=1:50

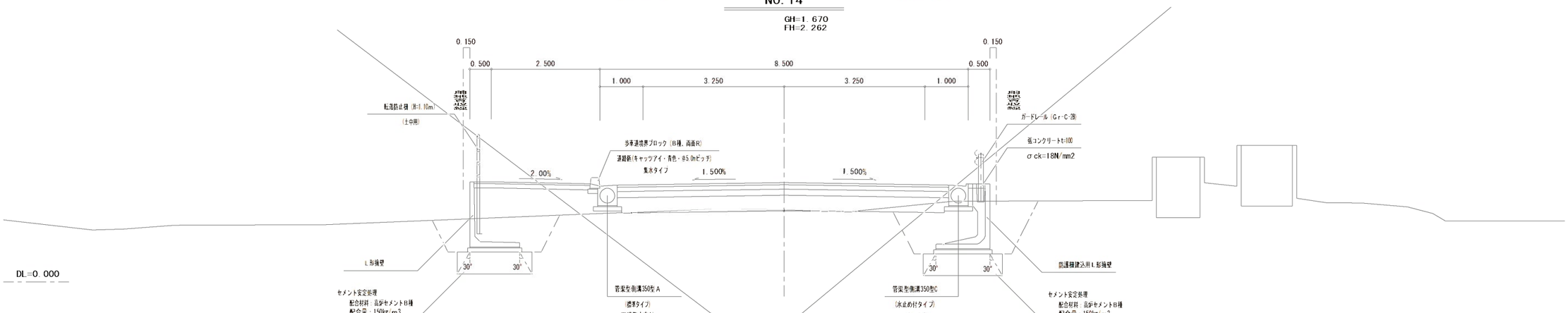
NO. 21

GH=1.600
FH=2.536



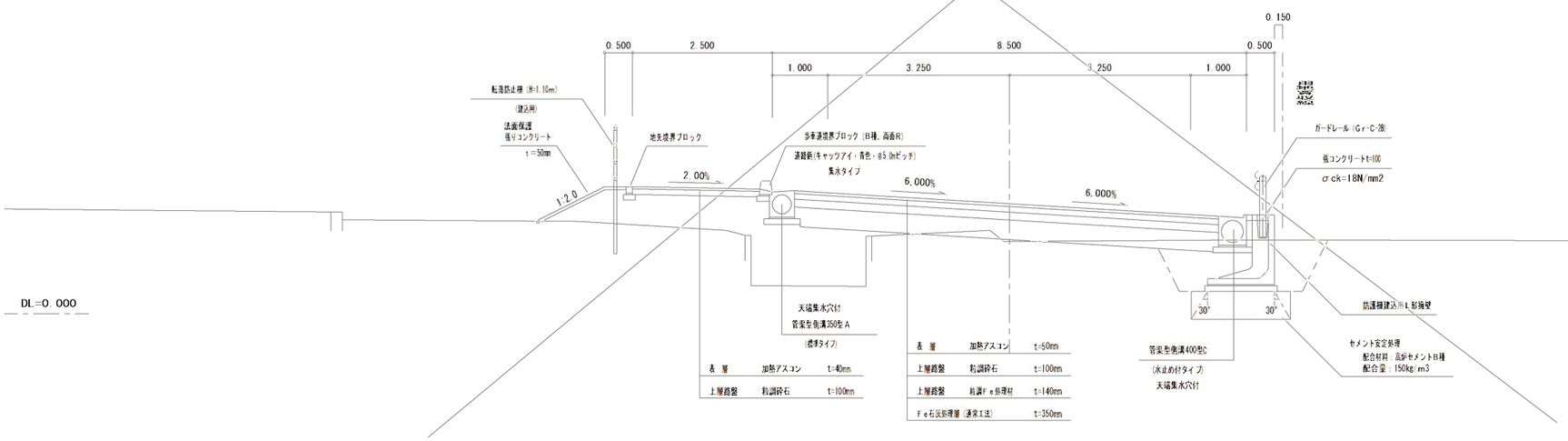
NO. 14

GH=1.670
FH=2.262



NO. 7

GH=1.290
FH=1.888



工事年度	平成30年度	第 号		工区
工事名	道路改良工事（２工区）			工事
路線河川名	文久・上新地	(地区)	地区	橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	縦断図			
縮尺	同上	図面番号	全 14 葉之内	3号
事務所名	行橋市			
認可 □当 □第 回変更	初	認施 □当 □第 回変更	初	□ 査定 □

縦断図

縦 1：100
横 1：500

工事延長 L = 434.255 m

工事長L=27.0m

騒音・振動低減区間

工事起点 No.0 +0.000

工事終点 No.21+14.255

KBM.5 H=1.903m

水準3-1 H=1.838m

主 層	密粒アスコン	t=150mm
上層路盤	粒調砕石	t=100mm
上層路盤	粒度Fc40材	t=140mm
Fc40改良路盤（表層工法）		t=350mm

勾配	
計画高	1.738 1.713 1.725 1.741 1.762 1.828 1.831 1.844 1.920 1.962 2.013 2.055 2.106 2.137 2.152 2.198 2.230 2.245 2.291 2.337 2.383 2.430 2.469 2.496 2.516 2.536 2.550 2.560
地盤高	1.760 1.750 1.250 1.260 1.260 1.240 1.230 1.280 1.340 1.290 1.290 1.320 1.260 1.300 1.320 1.420 1.340 1.320 1.670 2.510 1.740 1.460 1.460 1.510 1.520 1.560 1.580
切土高	0.652 0.030
盛土高	0.463 0.463 0.485 0.481 0.522 0.618 0.644 0.644 0.580 0.677 0.723 0.739 0.846 0.837 0.832 0.778 0.890 0.925 0.621 0.173 0.643 0.996 1.089 0.904 0.806 0.588
追加距離	0.000 20.000 20.464 40.000 42.234 60.000 80.000 98.785 100.000 120.000 140.000 160.000 180.000 200.000 213.627 220.000 240.000 253.627 260.000 280.000 300.000 320.000 340.000 360.000 380.000 400.000 420.000 434.255
単距離	0.000 20.000 0.464 19.536 2.314 17.626 20.000 18.785 1.230 20.000 20.000 20.000 20.000 13.627 6.393 20.000 13.627 6.393 20.000 20.000 20.000 20.000 20.000 20.000 20.000 14.255
測点番号	NO.0 NO.1 FC.1 NO.2 KA.2.1 NO.3 NO.4 KF.2.1 NO.5 NO.6 NO.7 NO.8 NO.9 NO.10 KF.2.2 NO.11 NO.12 KA.2.2 NO.13 NO.14 NO.15 NO.16 NO.17 NO.18 NO.19 NO.20 NO.21 EP
平面線形曲率図	IP.1 TL= 46.123 IA=8-47-29 CL= 92.064 R =600.000 SL= 1.770 IP.2 IA=58-22-51 A1 = 95.000 L1 = 56.406 D1 =117.539 R =160.000 A2 = 80.000 L2 = 40.000 D2 =110.091 Lc =114.827
片勾配すりつけ図	2.00% 56.406 6.00% 6.00% 40.000 1.00%
拡幅	

工事年度	平成30年度　　第　　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）		工事
路線河川名	文久・上新地 (橋脚) 地区		橋
工事箇所	行橋市大字今井		地内
図面名	横断図その4		
縮尺	図示	図面番号	全 14 葉之内　4号
事務所名	行　橋　市		
認□当　初 可□第　回変更	認□当　初 施□第　回変更	□査定	

横断図その4

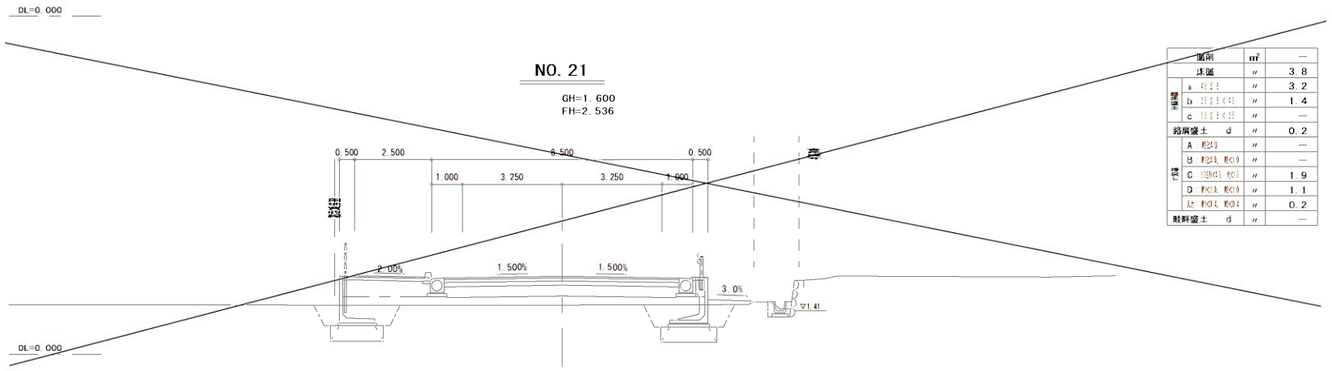
S=1:100

EP

GH=2.580
FH=2.550

NO. 21

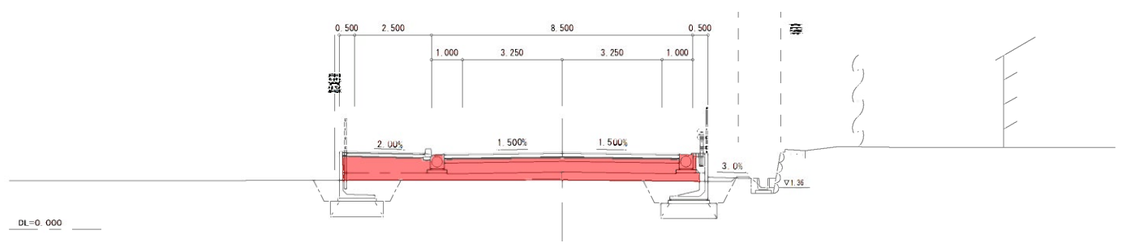
GH=1.600
FH=2.536



掘削	㎥	—
床掘	〃	3.8
埋戻 a 砕石	〃	3.2
埋戻 b 山砂(小)	〃	1.4
埋戻 c 山砂(山)	〃	—
路肩盛土 d	〃	0.2
型枠 A 側壁	〃	—
型枠 B 側壁,胸壁	〃	—
型枠 C 底版(小),胸壁	〃	1.9
型枠 D 側壁,胸壁	〃	1.1
型枠 上下 側壁,胸壁	〃	0.2
敷鉄筋盛土 d	〃	—

NO. 20

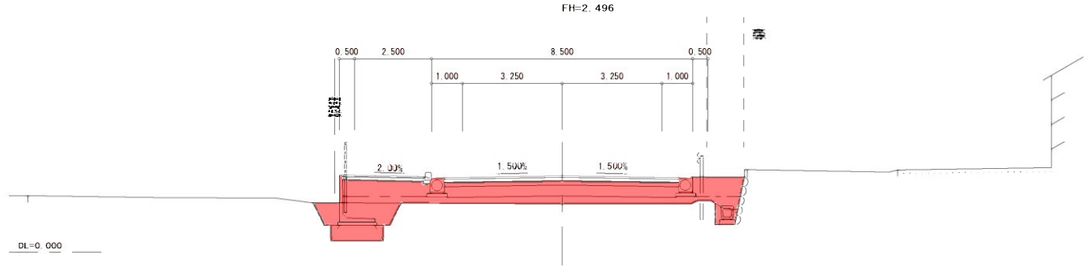
GH=1.620
FH=2.516



掘削	㎥	—
床掘	〃	3.8
埋戻 a 砕石	〃	2.9
埋戻 b 山砂(小)	〃	1.4
埋戻 c 山砂(山)	〃	—
路肩盛土 d	〃	0.2
型枠 A 側壁	〃	—
型枠 B 側壁,胸壁	〃	—
型枠 C 底版(小),胸壁	〃	2.0
型枠 D 側壁,胸壁	〃	1.0
型枠 上下 側壁,胸壁	〃	0.2
敷鉄筋盛土 d	〃	—

NO. 19

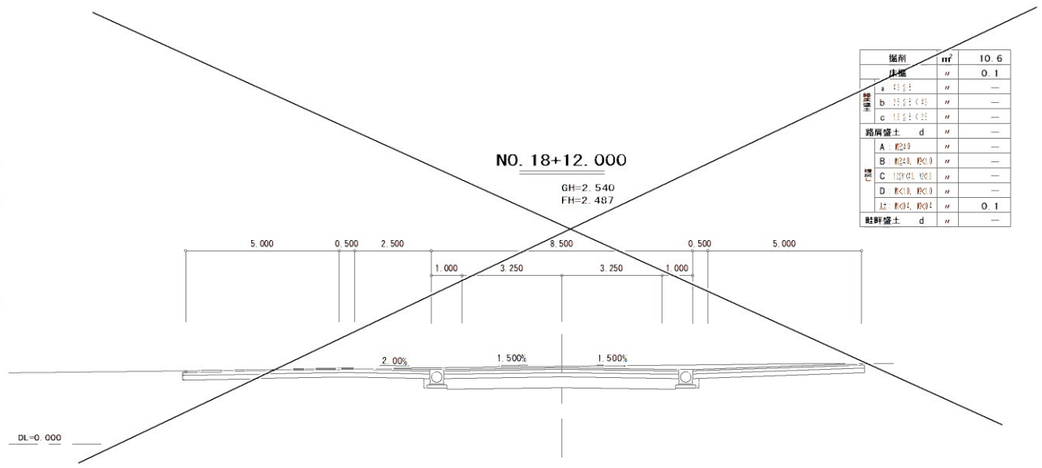
GH=1.590
FH=2.496



掘削	㎥	—
床掘	〃	2.2
埋戻 a 砕石	〃	3.0
埋戻 b 山砂(小)	〃	1.4
埋戻 c 山砂(山)	〃	—
路肩盛土 d	〃	1.0
型枠 A 側壁	〃	—
型枠 B 側壁,胸壁	〃	—
型枠 C 底版(小),胸壁	〃	1.0
型枠 D 側壁,胸壁	〃	0.5
型枠 上下 側壁,胸壁	〃	0.2
敷鉄筋盛土 d	〃	—

NO. 18+12.000

GH=2.540
FH=2.487



掘削	㎥	10.6
床掘	〃	0.1
埋戻 a 砕石	〃	—
埋戻 b 山砂(小)	〃	—
埋戻 c 山砂(山)	〃	—
路肩盛土 d	〃	—
型枠 A 側壁	〃	—
型枠 B 側壁,胸壁	〃	—
型枠 C 底版(小),胸壁	〃	—
型枠 D 側壁,胸壁	〃	—
型枠 上下 側壁,胸壁	〃	0.1
敷鉄筋盛土 d	〃	—

工事年度	平成30年度	第　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）			工事
路線河川名	文久・上新地	地区		橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	舗装求積図			
縮尺	図示	図面番号	全14葉之内	5号
事務所名	行橋市			
認□当初 可□第　回変更		認□当初 施□第　回変更		□査定 □

舗装求積図

S=1：600

N

1号進入路（農道）

表層　加熱アスコン　A＝64.5m2

上層路盤　粒調砕石　A＝66.8m2

下層路盤　クラッシャラン　A＝66.8m2

（取付道路）

表層　加熱アスコン　A＝64.6m2

上層路盤　粒調砕石　A＝64.6m2

下層路盤　クラッシャラン　A＝64.6m2

（取付道路）

表層　加熱アスコン　A＝23.9m2

上層路盤　粒調砕石　A＝25.2m2

下層路盤　クラッシャラン　A＝25.2m2

騒音・振動低減区間

歩道部
A＝47.2m2

歩道部
A＝62.5m2

（表層撤去復旧）
A＝227.1m2

2号進入路（農道）

表層　加熱アスコン　A＝14.3m2

上層路盤　粒調砕石　A＝15.3m2

下層路盤　クラッシャラン　A＝15.3m2

歩道部
A＝37.2m2

車道部

表層　加熱アスコン　A＝454.7m2

上層路盤　粒調砕石　A＝454.7m2

上層路盤　粒調Fe処理材　A＝405.4m2

Fe石灰処理層（通常工法）　A＝405.4m2

（取付道路）

表層　加熱アスコン　A＝22.5m2

上層路盤　粒調砕石　A＝24.0m2

下層路盤　クラッシャラン　A＝24.0m2

車道部

表層　加熱アスコン　A＝280.5m2

上層路盤　粒調砕石　A＝280.5m2

上層路盤　粒調Fe処理材　A＝280.5m2

Fe石灰処理層（通常工法）　A＝280.5m2

車道

表層	加熱アスコン	t=50mm
上層路盤	粒調砕石	t=100mm
上層路盤	粒調Fe処理材	t=140mm
Fe石灰処理層（通常工法）		t=350mm

（車道）取付道路

表層	加熱アスコン	t=50mm
上層路盤	粒調砕石	t=100mm
下層路盤	クラッシャラン	t=150mm

（歩道）

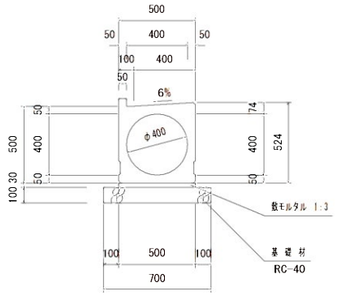
表層	加熱アスコン	t=40mm
上層路盤	粒調砕石	t=100mm

工事年度	平成30年度　　第　　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）		工事
路線河川名	文久・上新地（緑石）地区		橋
工事箇所	行橋市大字今井		地内
図面名	側溝詳細図その1		
縮尺	図示	図面番号	全 14 葉之内 6号
事務所名	行橋市		
認□当　初 可□第　回変更	認□当　初 施□第　回変更		□査定 □

管渠型側溝400型C

（水止め付タイプ）　S=1:20

天端集水穴付



材料表　　10m当たり

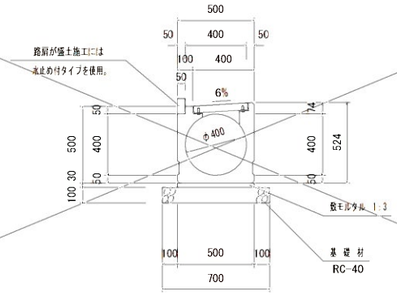
種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝400型C	個	5.00
敷モルタル	0.500 × 0.030 × 10.00	m^3	0.150
基礎材	0.700 × 10.00	m^2	7.00

※　10m毎に管渠型側溝Gと管渠型溜桝Gを交互に設置する。

※　排水性舗装箇所には、側面上部に開口（集水孔）を設けること。

管渠型側溝400型G

（グレーチング付きタイプ）　S=1:20



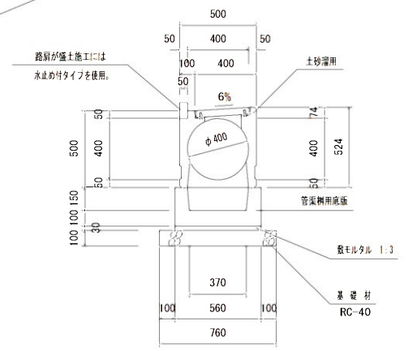
材料表　　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝400型G　L=2.00m	個	5.00
敷モルタル	0.500 × 0.030 × 1.00 × 10	m^3	0.150
基礎材	0.700 × 1.00 × 10	m^2	7.00

※　10m毎に管渠型溜桝Gと交互に設置する。

管渠型溜桝400型G

（グレーチング付きタイプ）　S=1:20



材料表　　10m当たり

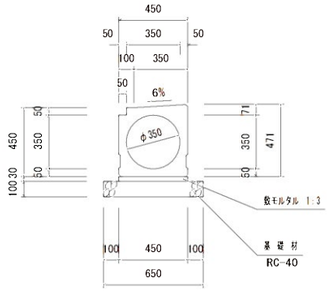
種別	算式	単位	数量
溜桝本体	管渠型溜桝G　L=1.00m	個	10.00
溜桝用底版		個	10.00
敷モルタル	0.560 × 0.030 × 1.00 × 10	m^3	0.168
基礎材	0.760 × 1.00 × 10	m^2	7.60

※　10m毎に管渠型側溝Gと交互に設置する。

管渠型側溝350型A

（標準タイプ）　S=1:20

天端集水穴付



材料表　　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝350型A	個	5.00
敷モルタル	0.450 × 0.030 × 10.00	m^3	0.135
基礎材	0.650 × 10.00	m^2	6.50

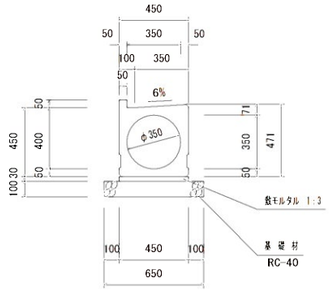
※　10m毎に管渠型側溝Gと管渠型溜桝Gを交互に設置する。

※　排水性舗装箇所には、側面上部に開口（集水孔）を設けること。

管渠型側溝350型C

（水止め付タイプ）　S=1:20

天端集水穴付



材料表　　10m当たり

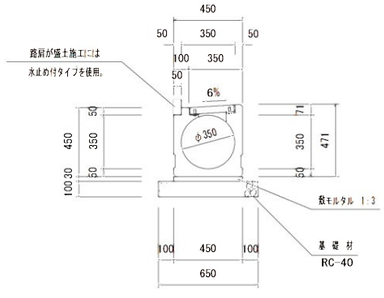
種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝350型C	個	5.00
敷モルタル	0.450 × 0.030 × 10.00	m^3	0.135
基礎材	0.650 × 10.00	m^2	6.50

※　10m毎に管渠型側溝Gと管渠型溜桝Gを交互に設置する。

※　排水性舗装箇所には、側面上部に開口（集水孔）を設けること。

管渠型側溝350型G

（グレーチング付きタイプ）　S=1:20



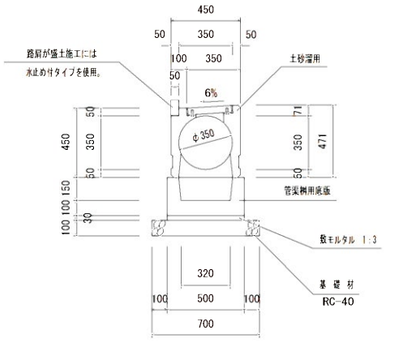
材料表　　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝350型G　L=1.00m	個	10.00
敷モルタル	0.450 × 0.030 × 1.00 × 10	m^3	0.135
基礎材	0.650 × 1.00 × 10	m^2	6.50

※　10m毎に管渠型溜桝Gと交互に設置する。

管渠型溜桝350型G

（グレーチング付きタイプ）　S=1:20



材料表　　10m当たり

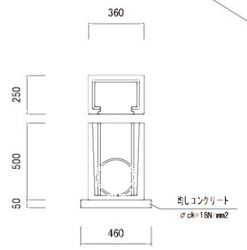
種別	算式	単位	数量
溜桝本体	管渠型溜桝G　L=1.00m	個	10.00
溜桝用底版		個	10.00
敷モルタル	0.500 × 0.030 × 1.00 × 10	m^3	0.150
基礎材	0.700 × 1.00 × 10	m^2	7.00

※　10m毎に管渠型側溝Gと交互に設置する。

工事年度	平成30年度	第　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）			工事
路線名 河川名	文久・上新地 (始点) 地区			橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	側溝詳細図その2			
縮尺	図示	図面番号	全14葉之内 7号	
事務所名	行橋市			
認□当初 可□第　回変更		認□当初 施□第　回変更		□査定 □

田面用排水桝300

S=1:20

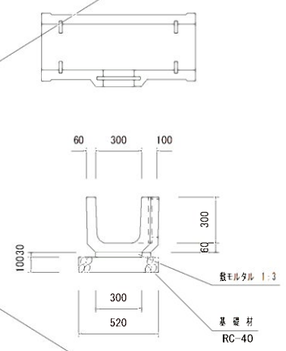


材料表　1.0箇所当り

種別	算式	単位	数量
排水桝		個	1.00
均しコンクリート	0.460×0.350×0.050×1.000	m^3	0.008
VU φ150		m	1.00

Lu形井堰300

S=1:20

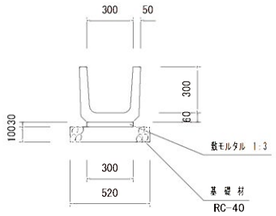


材料表　1.0箇所当り

種別	算式	単位	数量
側溝	標準品 L=1.0m	個	1.00
敷モルタル	0.300×0.030×1.000	m^3	0.009
基礎材	0.520×1.000	m^2	0.52

鉄筋コンクリートU形300

S=1:20

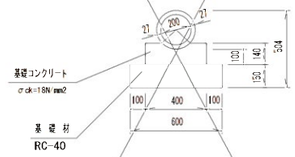


材料表　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	標準品 L=2.0m	個	5.00
敷モルタル	0.300×0.030×10.000	m^3	0.090
基礎材	0.520×10.000	m^2	5.20

ヒューム管 φ200

(90° 固定基礎)　S=1:20

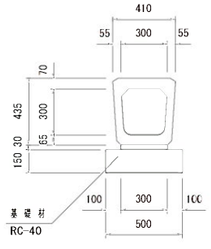


材料表　10.0m当り

種別	数量	摘要
基礎材	6.00 m^2	JIS A 5372 遠心力鉄筋コンクリート管 (B-1, B-2)
基礎コンクリート	0.51 m^3	
基礎型枠	2.80 m^2	
本体	5.00 本	単管長 L=2.000m

横断暗渠　300

S=1:20

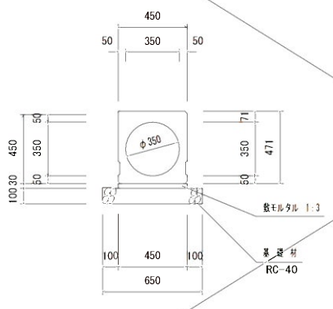


材料表　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	標準品 L=2m	個	5.00
敷モルタル	0.300×0.030×10.000	m^3	0.090
基礎材	0.500×10.000	m^2	5.00

管渠型側溝350型横断用

S=1:20



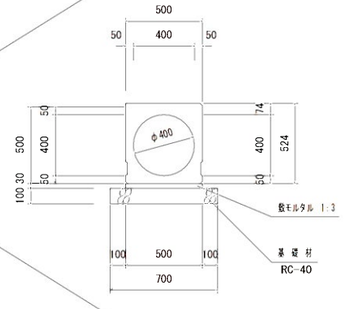
材料表　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝350型横断用	個	5.00
敷モルタル	0.450 × 0.030 × 10.00	m^3	0.135
基礎材	0.650 × 10.00	m^2	6.50

※　排水性舗装箇所には、側面上部に開口（集水孔）を設けること。

管渠型側溝400型横断用

S=1:20



材料表　10m当たり

種別	算式	単位	数量
側溝	管渠型側溝400型横断用	個	5.00
敷モルタル	0.500 × 0.030 × 10.00	m^3	0.150
基礎材	0.700 × 10.00	m^2	7.00

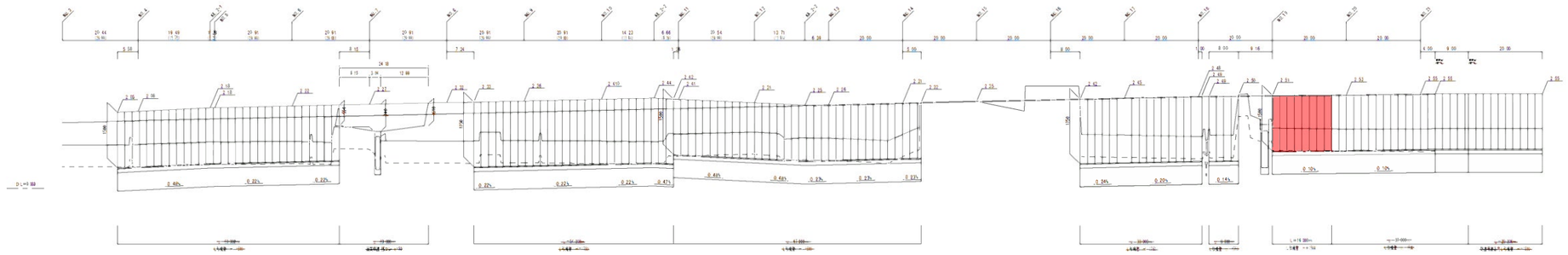
※　排水性舗装箇所には、側面上部に開口（集水孔）を設けること。

工事年度	平成30年度	第	号	工区	
工事名	道路改良工事（2工区）			工事	
路線名 河川名	文久・上新地	(地区)		地区	橋
工事箇所	行橋市大字今井				地内
図面名	L型擁壁詳細図その1				
縮尺	縮率	図面番号	全 14葉之内	8号	
事務所名	行 橋 市				
認□当 初 可□第 回変更		認□当 初 施□第 回変更		□ 査 定 □	

左側L型擁壁展開図

（ ）：センター延長

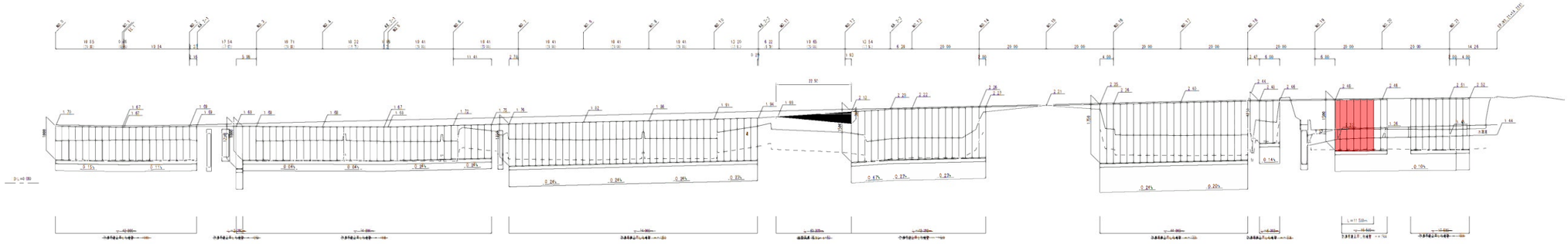
縦 1：50
横 1：500



右側L型擁壁展開図

（ ）：センター延長

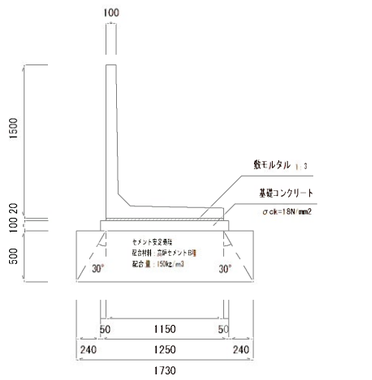
縦 1：50
横 1：500



工事年度	平成30年度	第　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）			工事
路線河川名	文久・上新地 (単筋)	地区		橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	L型擁壁詳細図その2			
縮尺	図示	図面番号	全 14 葉之内	9号
事務所名	行橋市			
認□当　初 可□第　回変更	認□当　初 施□第　回変更		□ 査 定 □	

L型擁壁 H=1500

S=1:30

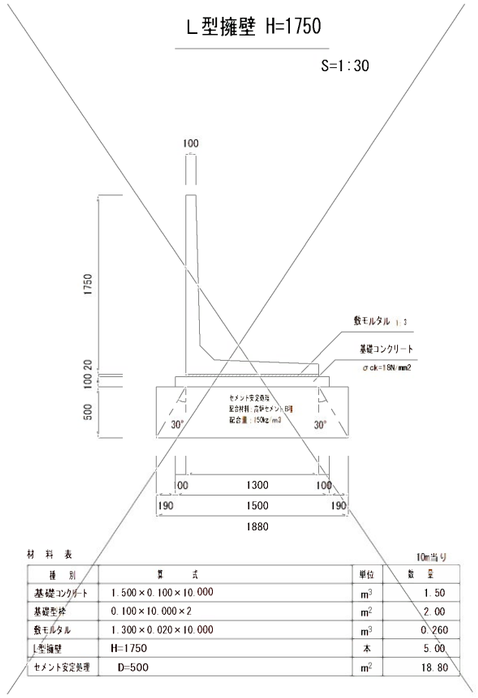


材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
基礎コンクリート	1.250×0.100×10.000	m^3	1.25
基礎型枠	0.100×10.000×2	m^2	2.00
敷モルタル	1.150×0.020×10.000	m^3	0.230
L型擁壁	H=1500	本	5.00
セメント安定処理	D=500	m^2	17.30

L型擁壁 H=1750

S=1:30

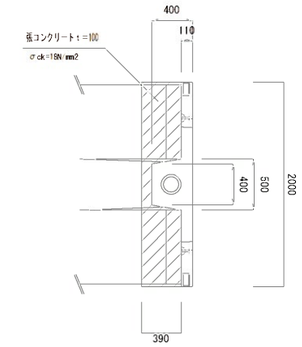


材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
基礎コンクリート	1.500×0.100×10.000	m^3	1.50
基礎型枠	0.100×10.000×2	m^2	2.00
敷モルタル	1.300×0.020×10.000	m^3	0.260
L型擁壁	H=1750	本	5.00
セメント安定処理	D=500	m^2	18.80

張コンクリート詳細図

S=1:30

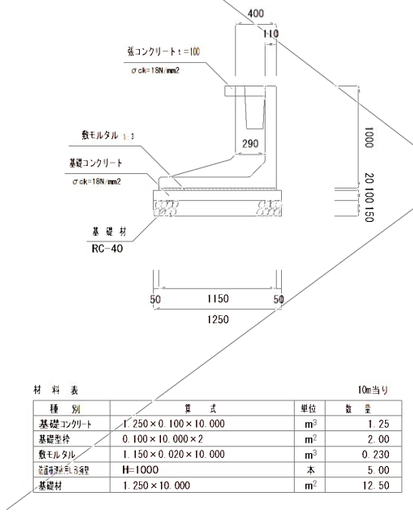


材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
張コンクリート t=100	2.000×0.390 × 5 = 3.90 −(0.400+0.500)×0.250/2 × 5 = 0.65	m^2	3.25

防護柵建込用L形擁壁 H=1000

参考重量(L=2000) 1400kg　　S=1:30

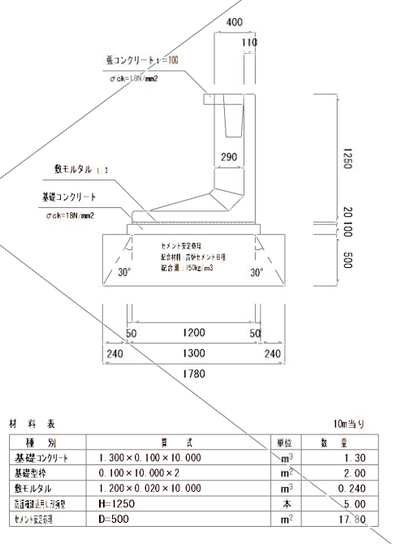


材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
基礎コンクリート	1.250×0.100×10.000	m^3	1.25
基礎型枠	0.100×10.000×2	m^2	2.00
敷モルタル	1.150×0.020×10.000	m^3	0.230
防護柵建込用L形擁壁	H=1000	本	5.00
基礎材	1.250×10.000	m^2	12.50

防護柵建込用L形擁壁 H=1250

参考重量(L=2000) 1630kg　　S=1:30

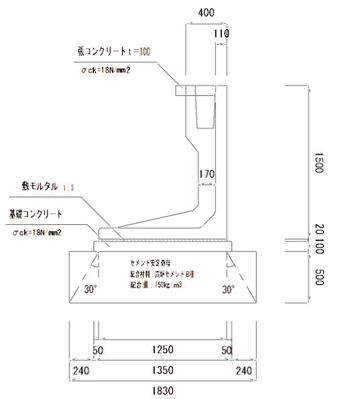


材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
基礎コンクリート	1.300×0.100×10.000	m^3	1.30
基礎型枠	0.100×10.000×2	m^2	2.00
敷モルタル	1.200×0.020×10.000	m^3	0.240
防護柵建込用L形擁壁	H=1250	本	5.00
セメント安定処理	D=500	m^2	17.80

防護柵建込用L形擁壁 H=1500

参考重量(L=2000) 1780kg　　S=1:30

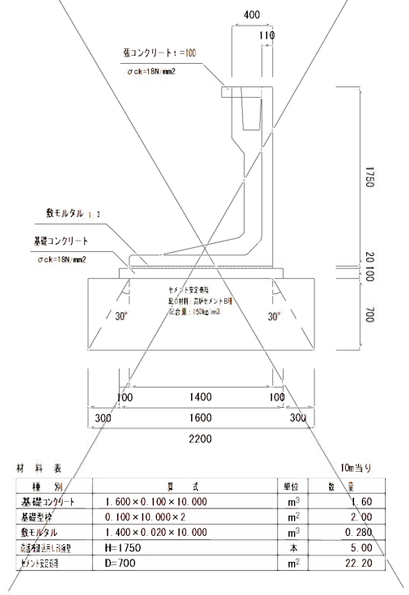


材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
基礎コンクリート	1.350×0.100×10.000	m^3	1.35
基礎型枠	0.100×10.000×2	m^2	2.00
敷モルタル	1.250×0.020×10.000	m^3	0.250
防護柵建込用L形擁壁	H=1500	本	5.00
セメント安定処理	D=500	m^2	18.30

防護柵建込用L形擁壁 H=1750

参考重量(L=2000) 2030kg　　S=1:30



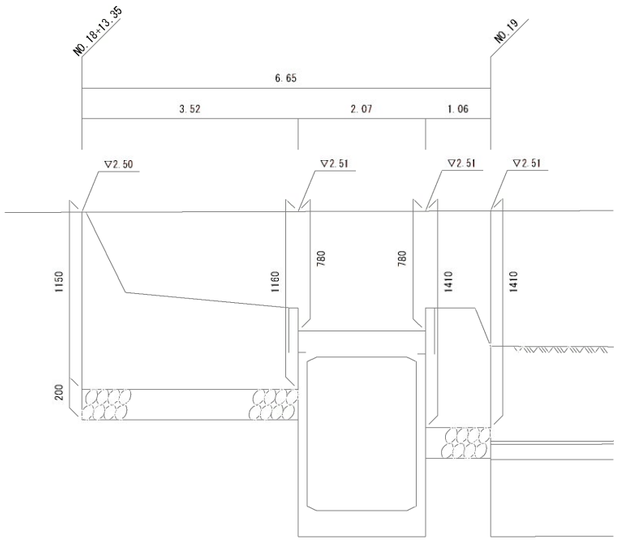
材　料　表　　10m当り

種　別	算　式	単位	数　量
基礎コンクリート	1.600×0.100×10.000	m^3	1.60
基礎型枠	0.100×10.000×2	m^2	2.00
敷モルタル	1.400×0.020×10.000	m^3	0.280
防護柵建込用L形擁壁	H=1750	本	5.00
セメント安定処理	D=700	m^2	22.20

工事年度	平成30年	第　号		工区
工事名	道路改良工事（２工区）			工事
路線河川名	文久・上新地 (線筋) 地区			橋
工事箇所	行橋大字今井			地内
図面名	重力式擁壁詳細図その4			
縮尺	図示	図面番号	全14葉之内 10号	
事務所名	行橋市			
認□当初 可□第　回変更	認□当初 施□第　回変更		□査定 □	

7号重力式擁壁　展開図

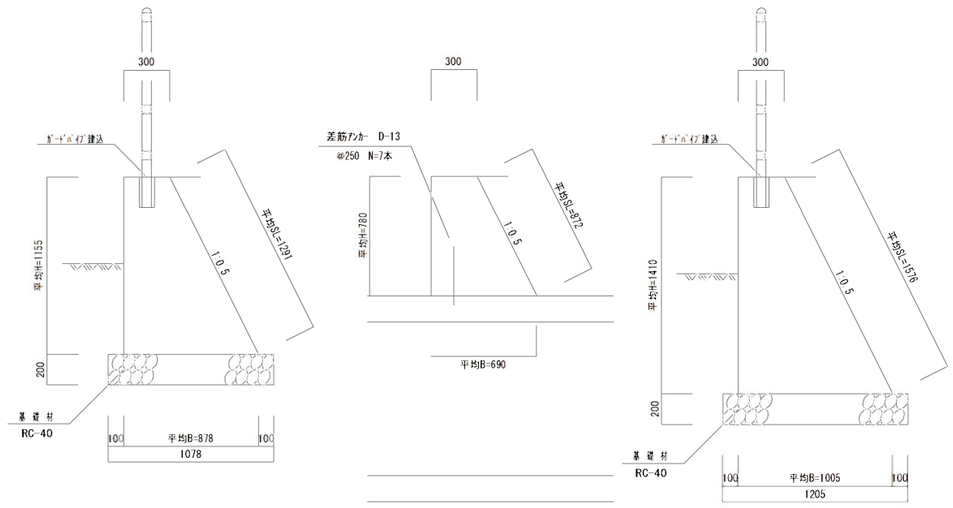
S=1:20



DL=0.000

7号重力式擁壁　構造図

S=1:20



材料表

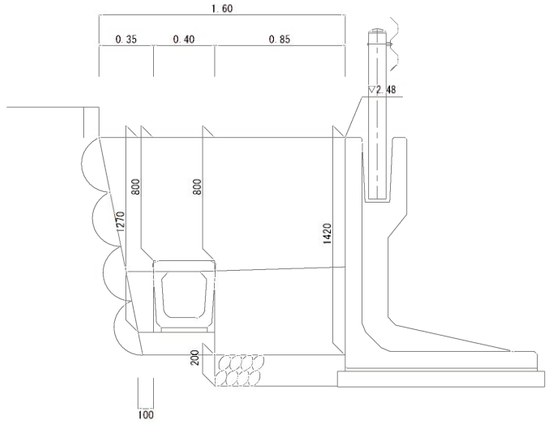
1箇所当り

種別	算式	単位	数量	適用
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	別紙数量計算書より	m^3	4.17	σck=18N/mm2
躯体型枠	別紙数量計算書より	m^2	15.20	
基礎材	別紙数量計算書より	m^2	5.07	t=200
差筋ｱﾝｶｰ	別紙計算書より	本	7.00	D13　@250
ﾎﾞｲﾄﾞ管	別紙数量計算書より	m	0.60	φ100

※水抜きパイプは、3.0m1ヶ所　φ75mmを設置すること

8号重力式擁壁　展開図

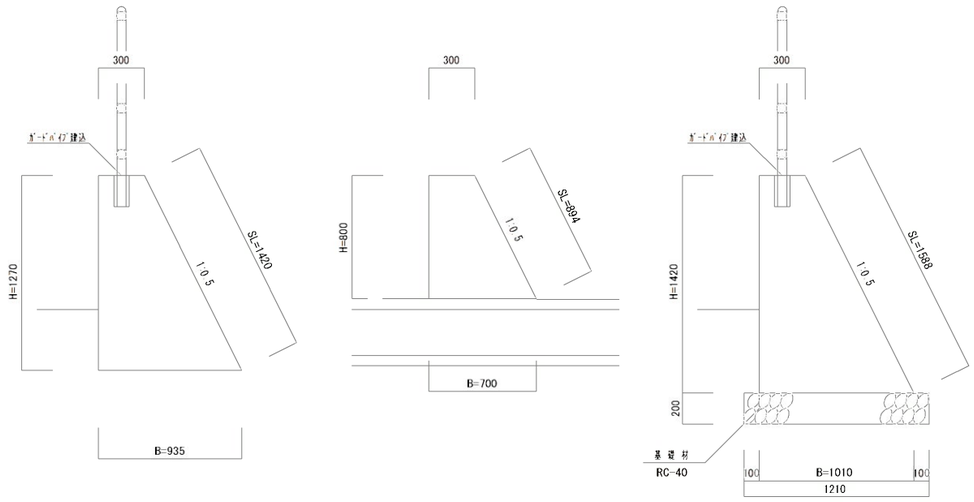
S=1:20



DL=0.000

8号重力式擁壁　構造図

S=1:20



材料表

1箇所当り

種別	算式	単位	数量	適用
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	別紙数量計算書より	m^3	1.13	σck=18N/mm2
躯体型枠	別紙数量計算書より	m^2	3.85	
基礎材	別紙数量計算書より	m^2	1.03	t=200
ﾎﾞｲﾄﾞ管	別紙数量計算書より	m	0.40	φ100

※水抜きパイプは、3.0m1ヶ所　φ75mmを設置すること

工事年度	平成30年度	第　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）			工事
路線河川名	文久・上新地 (M-1) 地区			橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	集水桝詳細図その2			
縮尺	図示	図面番号	全14葉之内11号	
事務所名	行橋市			
認□当　初 可□第　回変更		認□当　初 施□第　回変更		□査定 □

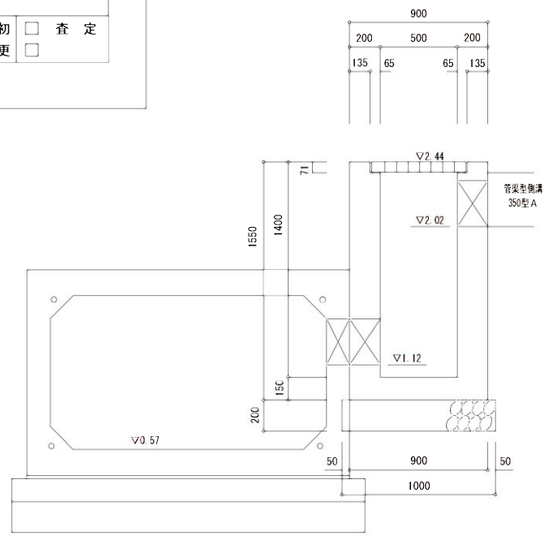
集水桝詳細図その2

S=1:100

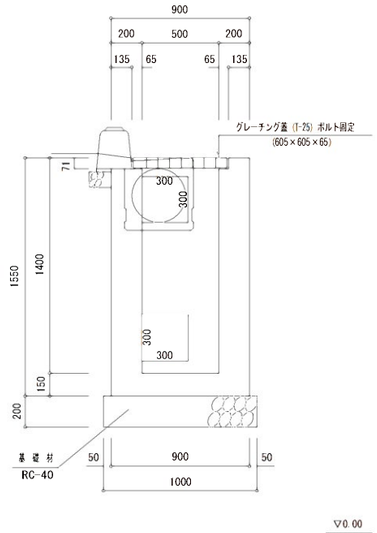
5号集水桝

(500×500×1400)　S=1:20

側面図



断面図

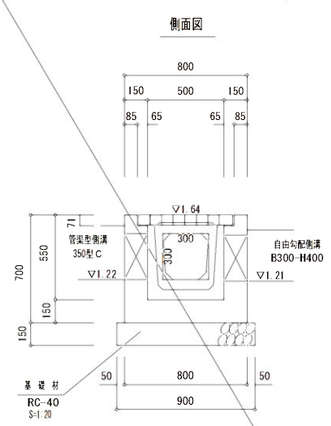


▽0.00

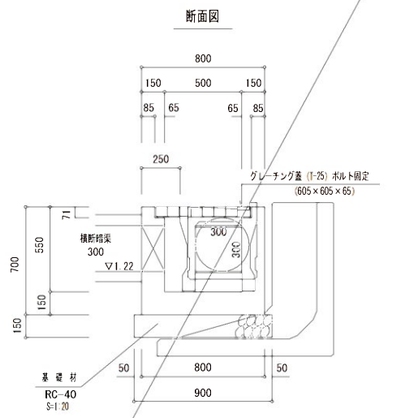
6号集水桝

(500×500×550)　S=1:20

側面図



断面図

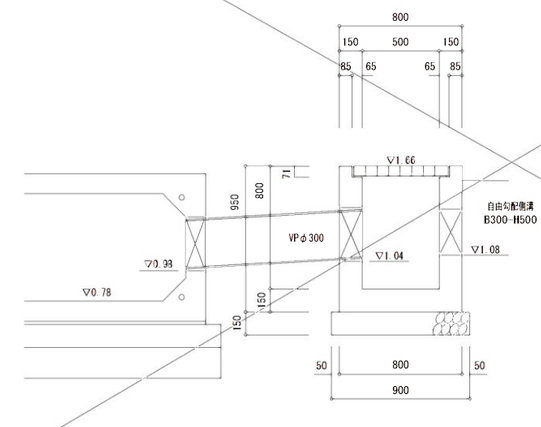


▽0.00

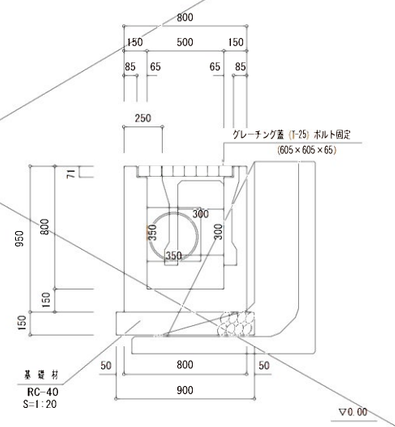
7号集水桝

(500×500×800)　S=1:20

側面図



断面図

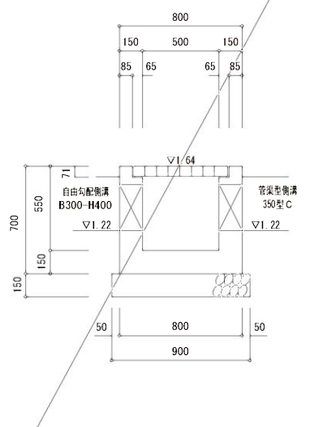


▽0.00

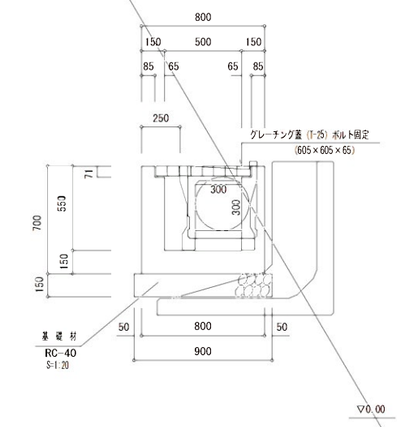
8号集水桝

(500×500×550)　S=1:20

側面図



断面図



▽0.00

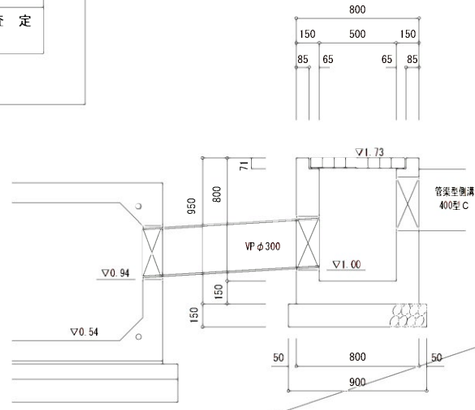
工事年度	平成30年度	第　号		工区
工事名	道路改良工事（2工区）			工事
路線河川名	文久・上新地 (林道)	地区		橋
工事箇所	行橋市大字今井			地内
図面名	集水桝詳細図その3			
縮尺	図示	図面番号	全14葉之内12号	
事務所名	行橋市			
認□当　初 可□第　回変更	認□当　初 施□第　回変更		□査定 □	

集水桝詳細図その3

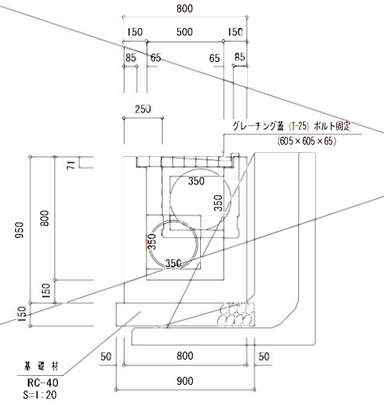
9号集水桝

(500×500×800)　S=1:20

側面図



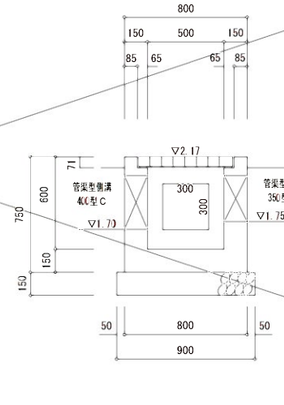
断面図



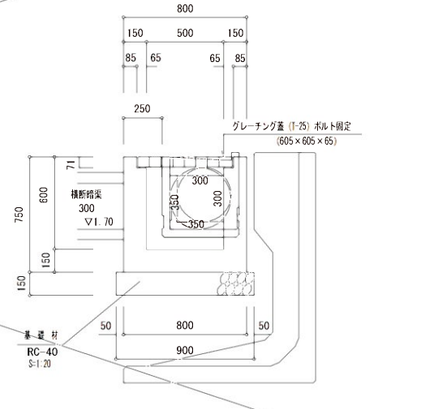
10号集水桝

(500×500×600)　S=1:20

側面図



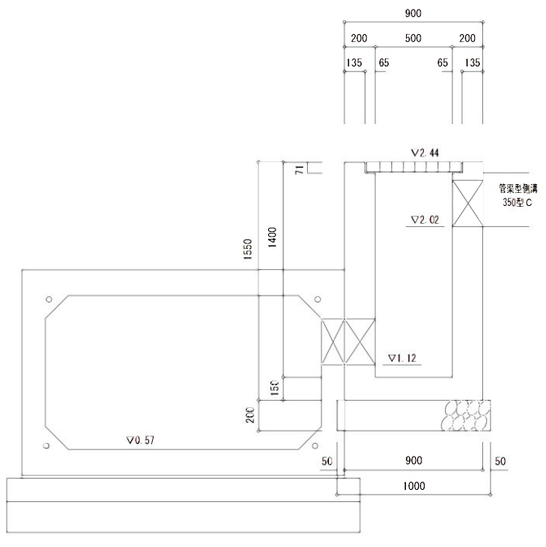
断面図



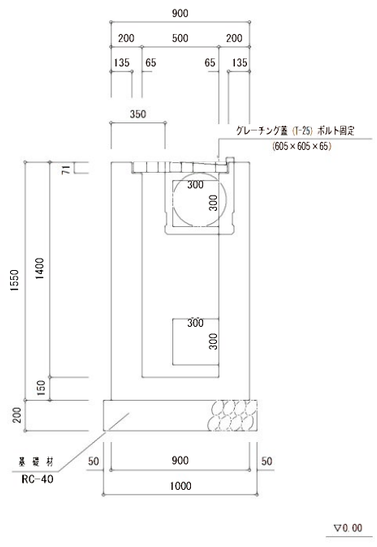
11号集水桝

(500×500×1400)　S=1:20

側面図

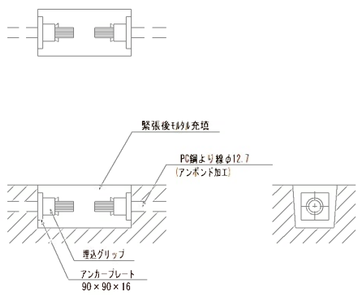


断面図



工事年度	平成30年度	第　号		工区	
工事名	道路改良工事（２工区）			工事	
路線河川名	文久・上新地	地区		橋	
工事箇所	行橋市大字今井			地内	
図面名	4号ボックスカルバート詳細図				
縮尺	図示	図面番号	全 14 葉之内 13 号		
事務所名	行橋市				
認□当　初 可□第　回変更	認□当　初 施□第　回変更		□査定		

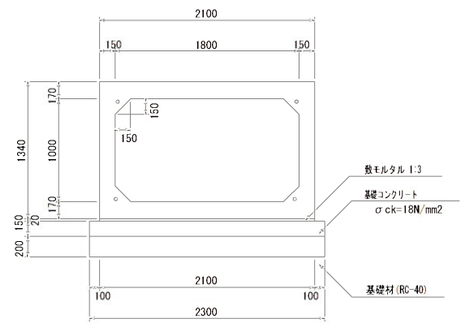
PC鋼より線定着部詳細図



4号ボックスカルバート詳細図

S=1:30

（□ 1800×1000）



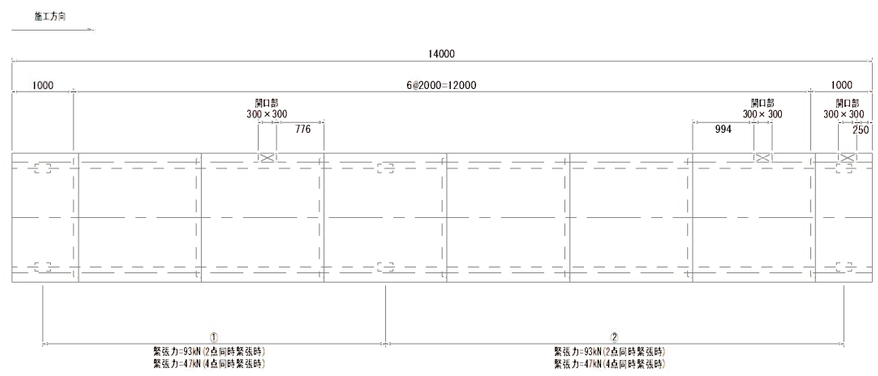
数量表　　一式

種別	規格・算式			単位	数量	延長(m)
ボックスカルバート 1800×1000	標準 L=2000	中間部		本	3	6.000
	標準 L=2000	箱抜き		本	1	2.000
	標準 L=2000(側壁開口300×300)	中間部		本	2	4.000
	短尺 L=1000	箱抜き	(メス付)	本	1	1.000
	短尺 L=1000(側壁開口300×300)	箱抜き	(オス付)	本	1	1.000
施工継延長	合計 8本					14.000
PC鋼より線	φ12.7 SWPR7B (アンボンド加工)	①	L=7.40m	本		4
		②	L=8.70m	本		4
アンカープレート	90×90×16			枚		16
グリップ	φ12.7用			個		16
敷モルタル	0.02×2.10×14.000			m^3		0.58
基礎コンクリート	0.15×2.30×14.000			m^3		4.83
基礎型枠	0.15×2×14.000			m^2		4.20
基礎材	2.30×14.000			m^2		32.20

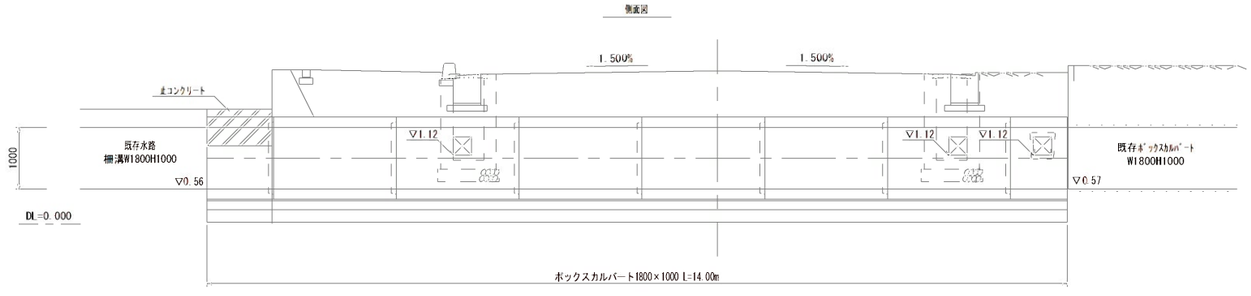
NO. 18+17. 220

S=1:50

平面図



側面図



撤去根拠図　構造物

1
~~工作物撤去~~
~~石積擁壁　A=20.0m2~~

④
~~無筋構造物撤去~~
~~重力式擁壁①　L=3.0m~~

⑰
無筋構造物撤去
土留壁　L=14.0m
有構造物撤去
柵溝W1800H1000　L=14.0m

⑯
~~有筋構造物撤去~~
~~U型側溝300　L=15.0m~~

⑲
~~無筋構造物撤去~~
~~重力式擁壁③　L=33.0m~~
~~(うち19.0m)~~

⑱
有筋構造物撤去
HPφ450　L=1.0m

2
~~工作物撤去~~
~~石積擁壁　A=7.5m2~~

⑩
~~有筋構造物撤去~~
~~VS300×400　L=4.0m~~

小屋
倉庫
秋水
倉庫
G
給下
G
倉庫
倉庫
G
G
A-S
A-S
戸皮
秋水